

認知症かな？と思ったら

早めに相談することが大事！

認知症を根本的に治療することは難しいですが、認知症のタイプに合わせた治療やケアを適切に行うことで、進行を遅らせたり、症状を軽減することができます。そのため、早めに医療受診や介護のサービス利用等を相談して、本人も家族も安心して生活できるようにしましょう。

医療機関受診のメリット

- 認知症と間違われやすい病気があります。（正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫、甲状腺ホルモンの異常、うつ病など）
一時的に現れる認知症のような症状は治る場合があります。
- 医師の診断のもとで、本人の症状に合わせた薬が処方されることで、認知症の進行を遅らせる可能性があります。

介護サービス利用のメリット

●本人のメリット

食事・運動・リハビリテーションなどにより、生活機能の維持が可能となり、認知症の進行を遅らせることが期待できます。

●家族のメリット

介護サービス利用している間は、家族は気分転換、休息時間に活用できるため、ゆとりを失わず介護が続けられます。

医療機関を受診しましょう

「認知症かな？」と思ったら、まずは『かかりつけ医』へ相談してください。かかりつけ医のみでは対応が難しい場合は、『専門医療機関』と連携します。かかりつけ医がいない場合も、18ページの『医療機関を探したい』を参考に受診を検討してください。

気になることを事前にまとめておきましょう

医療機関を受診する場合には、診断のための検査のほかに、もの忘れの状態などを質問されることがあります。日常生活の様子などを事前にまとめておくと診断の手助けになります。

本人の状態（例）

- いつ頃から、どんな状態が、
どんなふうに現れたか
- これまでかかった病気や
現在かかっている病気
- 飲んでいるお薬



家族から本人をみて（例）

- 日常生活の様子
- 生活する上で困っていること
- 性格や習慣の変化など

